

2007年3月期 中間決算説明会 データブック

シダックス株式会社
2006年12月5日

平成19年3月期 中間決算トピックス

連結の範囲

[短信 1~4ページ記載]

当中間期では事業の水平展開のための企業買収が実行され、この結果 連結子会社等が増加しております。

6月12日	新和風創作外食業態に特徴を持つ企業の買収
6月28日	米国でマルチブランドレストランチェーンを展開する企業の買収
9月1日	洋菓子を中心としたスイーツ事業の買収

この結果、新たに18社が連結の対象、1社が持分法適用の対象となりました。

新規連結子会社 ヴァスフードサービス(株)
Shdax USA Corp.・レストランホスピタリティーLLC・アールエーノパティナLLC・その他LLC14社
なお、米国企業の持分取得日は中間決算日のため、当中間期においては貸借対照表のみ連結しております。

新規持分法適用関連会社 (株)シスカ(下期よりメディカルフード関連の事業を開始予定です。)
連結子会社は29社、持分法適用関連会社は1社となりました。

会計処理の変更など

[短信 28ページ記載]

当中間期より貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準及び企業結合に係る会計基準等を適用しております。これにより資本の部の合計に相当する額より、純資産の部に少数株主持分相当額349百万円が多く計上されております。米国企業取得により発生したのれんは5,507百万円であり、10年間の均等償却を予定しております。

セグメントの事業内容

[短信 44~47ページ記載]

当中間期における事業区分の変更はありません。
外食事業の本格展開により、下期より「コントラクトフードサービス事業」に含めていた「外食事業」を独立区分する予定であります。

当中間期の業績要約

[短信 9~10ページ記載]

中期グループ戦略が着実に進みました。

- 1) 給食事業では、店舗運営利益と食材差益との立体構造が収益の安定化に寄与しました。
なお、標準メニューの導入店舗数が1,000店舗を超えました。
- 2) レストランカラオケ事業では、ケータイ会員に加え高齢者などを意識したカード会員制度を開始するなど、顧客基盤の拡大を行いました。
- 3) 事業コンセプトである「マザーフード」の考え方を広く認知して頂くため、「食育セミナー」など様々な取り組みを行いました。

今後の成長発展のための布石を打ちました。

- 1) 競争の激しい給食市場でお客様へ付加価値の高い提案を行える体制として、給食事業を横断する営業開発本部を新設しました。
- 2) エスロジックス事業の付加価値を、従来の給食事業からレストランカラオケ事業へ拡大しました。
- 3) 総合フードサービス企業としての事業領域拡大のため、際立った特長を持つ国内外の外食企業を買収しました。

通期見通しについて

[短信 1ページ記載]

通期の業績予想は、当初より変更しておりません。今後については、数値を精査のうえ必要に応じてお知らせいたします。

連結損益計算書とセグメント情報の増減説明

[短信 18～19ページ記載]

	17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
売上高	79,071	80,286	1,215
営業利益	2,517	3,285	768
経常利益	2,451	3,232	780
中間純利益	770	218	989

[短信 44～47ページ記載]

外部売上高		17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
給食事業	エスロジックス事業	2,573	2,930	357
	コントラクトフード事業	20,238	21,041	802
	メディカルフード事業	19,572	20,039	466
		42,383	44,010	1,626

内部売上高	17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
エスロジックス事業	20,193	24,385	4,191

外部売上高	17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
レストランカラオケ事業	30,234	29,369	865
コンビニエンス中食事業	5,952	6,247	295
その他事業	500	658	158

営業利益		17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
給食事業	エスロジックス事業	1,228	1,799	571
	コントラクトフード事業	1,170	839	331
	メディカルフード事業	54	355	300
		2,345	2,284	60

営業利益		17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
レストランカラオケ事業		2,701	3,313	612
コンビニエンス中食事業		82	66	16
その他事業		215	222	6
消去又は全社 HQコスト		2,230	2,023	207

連結売上高は802億円となり前中間期に比べて12億円の増収となりました。
 レストランカラオケ事業は既存店前年比97.3%でありましたが、その他の全セグメントで増収となりました。
 エスロジックス事業の内部売上高の増加は、経費削減を目的とした消耗品の一元化によるものであります。

営業利益、経常利益ともに32億円となり、前中間期に比べてそれぞれ8億円の増益となりました。
 営業利益は、レストランカラオケ事業の収益性改善で6億円増加、HQ経費の削減で2億円増加となりました。
 給食事業では、上記表の通り3事業合算と比較すると営業利益はほぼ横ばいであり、医療保険制度改正の影響などは全体の仕組みで吸収することが出来ました。
 下期は不採算店舗の改善等により収益性を向上してまいります。

中間純利益は2億円となりました。
 当中間期において特別損失を23億円(減損損失22億円と投資有価証券評価損1億円)計上いたしました。

連結貸借対照表の増減説明

[短信 15～17ページ記載]

連結貸借対照表(一部加工)

	18年3月期	18年9月中間期	増減額
現金預金	19,454	15,592	3,861
売上債権	9,130	10,285	1,154
その他流動資産	4,544	6,134	1,589
有形固定資産	30,237	34,018	3,781
保証金等	11,501	11,835	334
のれん	1,568	3,887	5,456
その他固定資産	11,830	11,724	106
資産計	85,131	93,478	8,347

単位:百万円

	18年3月期	18年9月中間期	増減額
仕入債務	9,255	10,504	1,248
借入金・社債	31,539	36,809	5,270
その他負債	14,617	16,848	2,230
少数株主持分	373	-	373
純資産	29,345	29,316	29
自己資本比率	34.5%	31.0%	

連結総資産は934億円となり前期末に比べて83億円増加となりました。また、自己資本比率は31.0%となりました。

当中間期においても、貸借対照表においては総資産圧縮と有利子負債削減及び自己資本比率30%維持を目標としております。

自己資本比率30%は達成出来ましたが、グループ戦略推進のための積極的な企業買収により、借入金・社債は368億円となり前期末に比べて53億円増加となりました。総資産83億円増加のうち、米国子会社取得によりのれんを除いて88億円増加(うち有形固定資産50億円増加)しております。

資産サイドでは流動資産は320億円となり前期末に比べて11億円減少、固定資産は614億円となり前期末に比べて95億円増加となりました。

流動資産減少の主な要因として、現金預金39億円減少は企業買収のための取崩しによります。

それ以外の資産増加は、主として企業買収及び事業買収による事業拡大に伴う資産取得とのれんの発生によるものです。

資産の減少要因として、有形固定資産の減損損失の計上19億円があります。

負債合計は641億円となり前期末に比べて87億円増加となりました。

これは、主に企業買収のための有利子負債53億円増加によります。

純資産合計は293億円となり前期末と同額となりました。

自己資本比率は31.0%となり前期末より3.5%下落いたしました。今後もより一層総資産の圧縮に努め自己資本比率の改善を図ります。

連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信 10ページ及び21～23ページ記載]

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	17年9月中旬	18年9月中旬	増減額
営業キャッシュ・フロー	2,716	4,567	1,851
投資キャッシュ・フロー	701	8,600	7,899
財務キャッシュ・フロー	2,954	191	3,146
現金・同等物	11,563	15,362	3,799

営業CFは46億円となり前中間期に比べて19億円増加となりました。
これは主に、業績が順調に進捗していることにより税金等調整前中間純利益が12億円増加したことが要因です。

投資CFの純支出は86億円となり前中間期に比べて79億円増加となりました。
これは主に、企業買収及び事業買収の支出であります。

財務CFは前中間期に比べて31億円増加となりました。
これは主に、企業買収及び事業買収の資金調達であります。

[短信 11ページ記載]

キャッシュ・フロー指標の推移

	17年9月中旬	18年3月期末	18年9月中旬
自己資本比率(%)	31.7	34.5	31.0
時価ベースの自己資本比率(%)	30.5	64.6	47.2
債務償還年数(年)	6.6	3.7	3.6
インタレスト・カレッジ・レシオ(倍)	9.1	15.1	15.2

有利子負債残高の推移 (単位:百万円)

	18年3月期末	18年9月中旬	増減額
借入金・社債	31,539	36,809	5,270
未経過リース料期末残高相当額	15,123	16,327	1,203
合計	46,663	53,136	6,473

有利子負債残高は531億円となり前期末に比べて65億円増加となりました。
当中間期は企業買収等による資金調達を行ったため、有利子負債残高が増加しておりますが、
当期末に向けて期首水準の残高コントロールを行い、有利子負債削減の各種スキームの検討を行う予定です。

セグメント別店舗数推移表

05年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	0	58	13	5	3	5	14	98	9	3	5	6	3	5	129
	減少	0	12	9	6	6	10	10	53	7	5	13	3	7	76	164
	残	1,626	1,672	1,676	1,675	1,672	1,667	1,671	1,671	1,673	1,671	1,663	1,666	1,662	1,591	1,591
メディカル	増加	0	101	7	22	10	7	14	161	22	13	11	9	10	8	234
	減少	0	3	0	5	3	3	8	22	5	3	1	5	3	57	96
	残	724	822	829	846	853	857	863	863	880	890	900	904	911	862	862
レストランカラオケ	増加	0	2	0	3	5	3	1	14	2	2	1	2	1	0	22
	減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残	281	283	283	286	291	294	295	295	297	299	300	302	303	303	303
コンビニ中食	残															312

06年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	0	89	7	8	11	8	7	130	11	4	5	5	8	5	168
	減少	0	10	5	6	11	8	7	47	9	3	5	2	9	51	126
	残	1,591	1,670	1,672	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	1,676	1,677	1,677	1,680	1,679	1,633	1,617
メディカル	増加	0	83	16	17	12	15	8	151	13	12	9	5	0	4	194
	減少	0	3	3	10	5	10	7	38	8	13	9	7	4	49	128
	残	862	942	955	962	969	974	975	975	980	979	979	977	973	928	928
レストランカラオケ	増加	0	3	1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	減少	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4	6
	残	303	306	307	307	306	306	306	306	306	306	306	306	306	302	302
コンビニ中食	残								321							328

07年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		79	4	49	10	7	14	163							
	減少		2	4	4	7	4	6	27							
	残	1,617	1,694	1,694	1,739	1,742	1,745	1,753	1,753							
メディカル	増加		86	9	18	13	7	17	150							
	減少		7	10	12	7	2	11	49							
	残	928	1,007	1,006	1,012	1,018	1,023	1,029	1,029							
レストランカラオケ	増加		0	0	0	0	0	0	0							
	減少		0	0	0	0	0	0	0							
	残	302	302	302	302	302	302	302	302							
コンビニ中食	残								343							

レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

05年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,955,481	5,243,091	4,381,813	5,183,878	5,773,957	4,844,375	30,382,595	4,788,684	4,473,242	7,130,475	5,938,189	3,990,591	5,375,255	62,079,031
客数(千人)	3,294	3,495	3,007	3,543	4,048	3,414	20,801	3,301	3,062	4,203	3,856	2,925	3,860	42,008

06年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	5,151,814	5,057,459	4,430,087	5,333,377	5,603,894	4,659,870	30,236,501	4,687,878	4,347,649	6,921,812	5,580,396	3,939,507	5,476,709	61,190,451
客数(千人)	3,335	3,364	2,956	3,496	3,808	3,197	20,156	3,091	2,873	4,039	3,681	2,869	3,755	40,464

07年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,958,028	4,800,411	4,283,626	5,059,274	5,618,381	4,708,497	29,428,216							
客数(千人)	3,258	3,256	2,917	3,350	3,863	3,297	19,942							